2025年度 帝京平成大学大学院 理学療法学専攻 科目等履修生 対面時間割表「スポーツ理学療法」分野

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ外傷・障害に対する理学療法に必要となる病態生理を理解し、診断や治療、予後予測について説明することができる。 ・スポーツ理学療法に関するガイドライン等を理解し、評価や治療介入を実践することができる。 ・病期、障害に即した理学療法を説明し、実施することができる。 ・スポーツ外傷・障害の発生予防や重症化予防、再発予防の考え方やその方法を理解し、説明することができる。 ・患者、家族、チームスタッフに対し、適切な理学療法指導、教育を実施することができる。 ・活用できる社会資源を理解するとともに、自立支援および疾病管理について説明することができる。 ・障がい者スポーツと理学療法との関りを理解し、適切な支援を実施することができる。
------	---

※以下の科目をすべて受講した上で、スポーツ理学療法分野における臨床認定カリキュラムの受講完了といたします。
 ※実施キャンパスは池袋キャンパス本館となります。
 ※オンデマンド配信期間は、配信予定日～12月20日となります。
 ※日程は変更となる可能性があります。

	科目名	ねらい	研修形式	実施日/配信予定日	実施場所(対面)	オンライン形式時の視聴確認方法	
必須科目 ・1コマあたり90分 ・15コマ全ての履修を修了要件とする。	1	スポーツ理学療法 総論	スポーツを取り巻く現状やスポーツの意義を理解し、理学療法との関りを理解する。また、理学療法による介入の意義や目的を理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	2	医学的診断と治療介入	医学的な診断や治療介入の方法や時期等について、各種ガイドラインあるいは指針等に基づいて理解する。また多職種の間を整理し、各職種が関わる意義を理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	3	スポーツ外傷・障害の機能評価	疾患によって生じる機能障害を整理するとともに、その障害の評価方法を習得する。また、評価に基づいたクリニカルリーズニングの考え方や方法を理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	4	アンチドーピング	スポーツ現場におけるアンチドーピングについての知識を理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	5	スポーツ外傷の急性期対応	スポーツ現場における救急対応や急性期理学療法について評価の方法と具体的な介入方法を整理し、その根拠を理解する。また、この時期のリスク管理について習得する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	6	スポーツ外傷・障害のアスレチックリハビリテーション	スポーツ外傷・障害の機能回復や競技復帰に向けた考え方や具体的な介入方法を整理し、その根拠を理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	7	スポーツ外傷・障害の発生・再発予防のための理学療法	スポーツ外傷・障害のリスク因子を理解し、発生予防や重症化予防、再発予防の考え方やその具体的な方法を理解する。またその効果検証の方法を確認する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	8	パフォーマンス向上のための介入とその方法	スポーツ参加者のパフォーマンス向上に対する考え方やその具体的な方法を整理する。また年代における注意点やコンディショニングの方法やその根拠を理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	9	スポーツ外傷・障害への理学療法 上肢	上肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	10	スポーツ外傷・障害への理学療法 下肢	下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	11	スポーツ外傷・障害への理学療法 頭頸部・体幹	頭頸部・体幹のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	12	患者・家族教育の意義とその方法	患者・家族・チームスタッフに対し、状態・病期に即した理学療法を説明し理解を得ることの必要性を理解するとともに、どのように教育・指導するのかを整理し、習得する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	13	スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用	スポーツ外傷・障害に対する装具やテーピングや物理療法について整理し、その適応や禁忌について理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	14	障がい者スポーツ 総論	障がい者スポーツを取り巻く現状や障がい者スポーツの意義を理解し、理学療法との関りを理解する。また、障がい者スポーツの歴史やクラシフィケーションについて理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	15	障がい者スポーツ 障害別各論	障がい者の特性を理解し、参加可能なスポーツについて理解する。また、障害特性に合わせたリスク管理の方法を習得する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
技術科目 ・1コマあたり90分 ・各分野における特定の技術など、その分野の知識・技術を広げる上で、必要となるカリキュラムを設定する。	1	11-1. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編1)(画像評価の実際)	レントゲン、CT、MRI、超音波エコー画像などから得られる情報を整理し、要点を理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	2	11-2. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編2)(救急対応の実際)	スポーツ現場における救急対応の実際を理解する。	対面	12月20日	実習室(1001教室)	/
	3	11-3. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編3)(スポーツ用装具・テーピング 上肢・体幹)	上肢・体幹のスポーツ外傷・障害に対しての装具療法、テーピングを理解する。	対面	12月20日	実習室(1001教室)	/
	4	11-4. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編4)(スポーツ用装具・テーピング 下肢)	下肢のスポーツ外傷・障害に対しての装具療法、テーピングを理解する。	対面	12月20日	実習室(1001教室)	/
	5	11-5. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編5)(物理療法)	スポーツ領域における物理療法介入について理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	6	11-6. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編6)(スポーツ選手に対する徒手療法)	スポーツ領域における徒手療法介入について理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート
	7	11-7. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編7)(パフォーマンス向上・予防トレーニングの実際)	パフォーマンス向上やスポーツ外傷・障害予防のためのトレーニング方法について理解する。	対面	12月20日	実習室(1001教室)	/
	8	11-8. 疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編8)(障がい者スポーツの競技・障害別対応の実際)	障がい者スポーツにおける競技別、障害別の対応について理解する。	オンデマンド	11月1日	/	レポート